



いちのみや大学第46回講座

～湊屋にて、「野の花」の大島八重子先生のお話を聞く～

尾張の郷土料理について

日時: 11月21日(水)
午前11時30分～(受付11:15～)
野の花のオーナー・湊屋倶楽部会長
講師: 大島八重子先生
場所: 茶店湊屋(旧湊屋文右衛門邸)
会費: 2000円



私たちの住む尾張地方では、昔からどんな料理が食べられていたのでしょうか？

大島八重子先生が、この地方のお料理として、祭りの日によく作られた箱型の押し寿司や、地元で作られた切干大根や角麩を使った料理、家にある材料で作った素朴なおやつなどを用意していただきます。それらを風情ある茶店湊屋(旧湊屋文右衛門邸)でいただきながら、先生のユーモアあふれる語り口で、昔の暮らしについてのお話をお聞きしたいと思います。

旧湊屋文右衛門邸: 文化庁の登録有形文化財にも指定されている起の古民家。現在は一部を改装して「茶店湊屋」として水、土、日曜日午前10時～午後5時(ラストオーダー4時半)に営業しています。水曜日は、木曾川の河川敷で朝市も開催されており、第1、2水曜日は予約制でランチも食べられます。

◆いちのみや大学講座「尾張の郷土料理について」

- **日時:** 11月21日(水)
11:30～13:30頃(受付11:15～)
 - **講師:** 大島八重子先生
 - **場所:** 旧湊屋文右衛門邸(一宮市起堤町33)
駐車場 金毘羅神社に5台
湊屋の西の河川敷も駐車可
- 公共交通機関
名鉄一宮駅バスターミナル2番乗り場
起行きにて濃尾大橋口下車、北へ徒歩約5分
- **会費:** 2000円(食事つき)
 - **定員:** 20名(要予約)
 - **申し込み締切り** は開催日前日まで。
キャンセルの場合も前日までをお願いします。

- **お問合せ・お申込み:**
いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)
メール info@ichinomiya-daigaku.com
電話 080-4227-8641
FAX 0586-72-5445

車は木曾川の河川敷にとめられます

堤防道路下のトンネルを抜けると、金毘羅神社があります

駐車場は向い側の金毘羅神社に5台

旧湊屋文右衛門邸

湊屋はここ。駐車場もあるけど、資料館を結ぶ道は、美濃路の雰囲気良く残っています。

木曾川河川敷の遊歩道をぶらぶら歩くと気持ちいい。湊屋から資料館までは10分ほどの距離。

古い家や土蔵がいくつも残る道。資料館から10分ほどで湊屋へ。ぶらぶら歩くといい感じですが、抜け道らしく、車がけっこう通るので注意。

バスの通る道の左に堤防の下を抜けるトンネルがあって、川沿いの遊歩道に出られます。

歩道橋

起バス停

一宮市尾西歴史民俗資料館



◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮の街をまるごとキャンパスにし、
一宮にこんなすばらしい人がいることの紹介
一宮近辺の郷土の歴史・文化の勉強
一宮の自慢の場所の見学など
ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆◆これからの講座の予定は？

月日	曜日	場所	講師	内容
11月21日 11:30～	水	起 湊屋	野の花オーナー 大島 八重子先生	尾張の郷土料理を味わう
11月29日 14:00～	木	野の花	日本紅茶協会認定ティーアドバイザー 森川 隆さん	紅茶のおいしい入れ方と楽しみ方
12月2日 14:00～	日	産業体育館 2階和室	鶴羽亭 園造(糟谷 護)さん他	年末チャリティ寄席 手品&落語
1月12日 14:00～	土	産業体育館 大会議室	元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生	古文書『塘叢』に見る 小牧・長久手の戦いの事

これまでに開催した講座：デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、プラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

◆いちのみや大学の講座は、どこで知ることができるの？

・いちのみや大学ホームページ

<http://ichinomiyaigaiku.com> で、学生登録(無料)をしていただくと、新しい講座の案内を月1回、メールでお知らせします。

登録方法→いちのみや大学ホームページの上部にある「**学生登録**」のボタンをクリックし、受講者登録をしてください。受講したい時は、ログインして、受講したい講座名をクリックし、講座詳細のページの下にある「**受講予約を申し込む**」のボタンを押すと、受講の申し込みができます。

・チラシ

市役所(各庁舎)、市民活動支援センター、尾西歴史民俗資料館、三岸節子記念美術館、一宮市博物館、織部亭、野の花、三八屋、ちゃらん家、馬宿、ヘアー・シャンティなどで配布

・中日新聞など

中日新聞 『おでかけガイド』(金曜日に掲載)

中日新聞ミニコミ紙 『タウンニュース』(毎月1日発行 一宮北部専売所 末広、富士、貴船学区方面)、『ほっと! タイムス』(毎月15日発行 一宮市西部、萩原、戸塚、大和、西御堂地区販売店)などに掲載しています。